

## 令和5年 大会宣言

本大会のスローガンである“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”を実現するため、ここに集う方々と共により一層行動することを誓い、次の事項を決議します。

### 1. 地域の中で、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

令和3年度から施行されている第5次ノーマライゼーションプランでは、「障害のある人もない人もお互いを尊重しあいながら共に支え合う自立と共生の地域社会の実現」とありますが、それが着実に進んでいるのか見直す時期にきています。高齢化などのライフステージ及び多様なニーズに応じた支援体制と相談支援体制の更なる充実とサービスの整備を求めます。

同時に、障害特性を理解し、状況に応じて柔軟に対応できるような人材の育成の促進を強く望みます。

### 2. 地域の一員として安心して暮らし続けられることがあたりまえの社会になるよう、一層の啓発を進めます。

障害者差別解消法に謳われている「障害を理由とする差別のない、自立と共生の地域社会づくり」のためには、障害理解の一層の啓発を進めていかなければなりません。一人の人としての人権が尊重され、安心して過ごせるあたりまえの暮らしと幸せを求められる地域社会を目指し、啓発を進めてください。親の会も、ともに啓発を進めてまいります。

障害があってもなくても共に認め合う共生社会の実現、人権尊重のまちづくり、共に生きる社会の実現を目指して、私たちと一緒に考えてください。

令和5年6月24日

令和5年 川崎市心身障害児者福祉大会実行委員会